

令和3年4月

戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）
科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム
プロジェクト企画調査事後評価報告書

「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」
プログラム総括 唐沢 かおり

1. 課題代表者

見上 公一（慶應義塾大学 理工学部 専任講師）

2. 課題名

「実験社会」における社会実験化の手法と影響に関する検討

3. 実施期間

令和2（2020）年9月1日～令和3（2021）年3月31日

4. 事後評価結果

プロジェクト企画調査の目標達成状況

本企画調査は、科学技術と社会との調和を図る研究開発手法である「社会実験」に着目し、新興技術にかかる共創的 science technology innovation 実現のための手法として活用する上での、(1)期待できる効果と、(2)社会への影響を制御する適切な実施のための条件について基本的整理を行い、求められる実験デザインの検討を目標として実施されたものである。

本企画調査は、科学の実験と社会とをつなぐプロセスとして社会実験を捉え、その基本的な考え方の整理や、いくつかの新興技術の具体的な社会実験を対象にした構成要素の抽出など、基礎的調査・検討が着実に推進されている。また、日本の社会文化的な背景が社会実験のあり方に及ぼす影響の分析に着目し、国際的な研究ネットワークの拡張を図るなど、意欲的に取り組まれている。しかしながら、求められる実験デザインのあり方の提示や、今後取り組んでいく課題の設定など研究開発構想の具体化については未だ検討の途上にある点で、目標を達成できていない事項がある。研究開発現場やステークホルダーとの協業を前提とする包括的実践につながる研究体制への再構築と、具体的な社会実験の実践・検証の道筋などについて、今後の検討が進展することを期待する。

以上

(別紙) 評価者一覧

〈プログラム総括〉

唐沢 かおり 東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

〈プログラムアドバイザー〉

大屋 雄裕 慶應義塾大学 法学部 教授

四ノ宮 成祥 防衛医科大学校 学校長

中川 裕志 理化学研究所 革新知能統合研究センター
社会における人工知能研究グループ チームリーダー

西川 信太郎 株式会社グローカリンク 取締役
／日本たばこ産業株式会社 D-LAB プロデューサー

納富 信留 東京大学 大学院人文社会系研究科 教授

野口 和彦 横浜国立大学 先端科学高等研究院 リスク共生社会創造センター 客員教授

原山 優子 理化学研究所 理事／東北大学 名誉教授

水野 祐 シティライツ法律事務所 弁護士／慶応義塾大学 SFC 研究所 上席所員

山口 富子 国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科 教授

(所属・役職はすべて 2021 年 3 月末時点)